

公益社団法人立川市シルバー人材センター  
平成28年度事業報告

## I 平成28年度の運営概況

平成28年度の運営方針

**「中期事業計画の達成に向け**

**事業の拡大と地域貢献に取り組むシルバー人材センター」**

平成28年度は、中期事業計画の最終年度にあたり、課題の解決と数値目標の達成に向け、普及啓発・会員増強・就業開拓・安全就業に取り組んでまいりました。

普及啓発・会員増強においては、ホームページやイベントへの参加を通じた事業紹介、入会案内パンフレットの市内全戸配布や地区別入会説明会の開催などによる会員増強に取り組みました。

事業活動においては、植木剪定・除草作業などでの受託増に対応するとともに、「介護予防・生活支援総合事業」の新規実施、パンフレットの市内全戸配布などを通じた葬祭事業の積極的な紹介活動を行いました。

その結果、

総契約高	9億1,614万余円	前年度比	0.6%、611万余円減
就業実人員	1,214人	前年度比	4人増
就業率	75.7%	前年度比	1.9ポイント増
会員数	1,603人	前年度比	35人減

となり、契約金額は前年度に続き9億円を超える成績をあげることができ、特に、就業率では中期事業計画の就業率目標75%を初めて達成することができました。

また、従来の請負・委任の契約に基づく受託に加え、東京都シルバー人材センター連合が実施する「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の実施に向け、立川市への説明・紹介などの取り組みを進めました。

組織活動においては、理事の業務分担に基づく部会等の活動を進めるとともに、地域貢献活動である「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の参加会員の拡大に取り組み、特に就業会員の参加拡大を推進するため啓發文書を送付するなどを実施しました。

一方、平成28年度も会員の傷害事故や賠償責任事故が多く発生したことを受け、安全対策基本計画の策定や転倒予防や交通安全啓発の講習会を開催するなど、会員への安全意識の啓発と事故防止の徹底に取り組んでまいりました。

以下、活動計画の項目別にその活動概要を報告いたします。

## Ⅱ 事業活動報告

### 1 適正な請負に基づく就業機会の開拓・確保

#### (1) 新規受託の開拓・確保

前年度に引き続き就業機会の開拓に取り組み、「介護予防・生活支援総合事業」に新規参入しました。また、植木剪定や除草作業などの受託増もあり、受託終了に伴う実績減を抑えることに貢献しました。

#### (2) 適正就業の確保

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の適正就業巡回指導の結果に基づき、契約書類等の内容修正などに取り組むとともに、新規受託の契約内容の確認など適正な請負契約の確保に努めました。

#### (3) 未就業会員への対応

「就業開拓・開発担当」による電話連絡、未就業会員現況調査の実施等により、未就業会員の現況把握を行いました。また、本部事務局で毎月1回、砂川分室で隔月、理事による総合相談窓口を開設し、未就業会員からの就業相談に対応しました。  
(総合相談窓口利用件数 23件)

#### (4) 会員・役職員の意識啓発・知識及び技能付与を目的とした研修の強化

就業に対する会員の意識啓発と接遇の向上のため、職群班会議等に理事や事務局職員が出席し、苦情事例等を挙げながら呼びかけを行いました。また、公益財団法人東京しごと財団が実施する就業支援講習や派遣事業のための「スーパーマーケット講習」を対象会員に周知し、参加を呼びかけました。

### 2 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」実施の取り組み

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)が実施している「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の事業所として、事業の実施に向け立川市への事業の説明・紹介を行い、また入会説明会での事業紹介を行いました。

### 3 普及啓発と会員増強

#### (1) 普及啓発活動月間の実施

10月を普及啓発活動月間に設定、特に10月20日を「シルバー広報の日」とし、役員によるJR立川駅周辺でのパンフレット配布活動や、会員の協力による登校時の見守りや清掃活動など市内全域での統一活動を実施しました。また、「高齢者の集い」「たちかわ楽市」などのイベントにREE工房が出店するとともに、入会案内・事業紹介リーフレットやPR用品の配布を行いました。

## (2) 入会案内パンフレットの市内全戸配布と地区別入会希望者説明会の開催

入会案内パンフレットの市内全戸配布を年4回実施するとともに、配布時期に合わせて地区別入会説明会を開催し、入会促進の一助としました。

## (3) その他の広報活動

- ① 市民マップ(平成29年3月作製)への広告掲載
- ② 市営葬儀説明会を毎月1回斎場で開催したほか、学習館等を利用し出張説明会を開催しました。(出張説明会10月・3月)
- ③ 東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)が主催する「いきいきシルバー活躍応援フェスタ」に参加し、R E E工房やファーマーズクラブの紹介出店を行い、事業紹介・入会案内の一助としました。

## 4 地域貢献活動の促進

### (1) 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の推進

地域貢献活動の一層の促進のため、総務部会及び地域班を中心として、参加協力会員の拡大に取り組みました。特に、未参加就業会員への啓発のため、参加要請の文書を送付しました。

### (2) その他の地域貢献活動

ファーマーズクラブが農業支援活動及び地域の保育園の芋ほり会への協力を行ったほか、「たちかわ楽市」へ出店しました。また、各地域班において、「シルバー広報の日」の統一活動として登校時に安全見守りやパトロールを実施したほか、清掃活動、防災・防犯パトロール、自治会や福祉施設などの催事など地域活動への協力も行いました。

## 5 安全就業の確保と安全意識の啓発

### (1) 職群班・地域班を通じた安全啓発活動と事故発生状況

職群班会議へ理事及び事務局職員が出席し、交通安全及び安全就業の啓発を行いました。また、地域班を通じて会員へ啓発リーフレットを配布するなど、安全意識の啓発に取り組みました。しかしながら、今年度も傷害事故13件、賠償事故4件など合計25件の事故が発生しました。

### (2) 安全就業強調月間の設定と安全意識の高揚

#### ① 「安全就業強調月間」の設定

7月及び12月を「安全就業強調月間」に設定し、安全管理推進委員会委員が職場を巡回し、安全チェック表に基づく職場の安全環境の確認を行い、事故防止対策を推進しました。

## ② 安全標語の募集

会員の安全意識の高揚を目的に職群班・地域班を通じて、平成28年度の安全標語の募集を行いました。募集の結果、会員37名から計157点の応募があり、安全管理推進委員会で選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作2点を決定し、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の平成29年度安全標語選考に応募しました。

## (3) 安全関係研修の充実

### ① 交通安全講習会の開催

交通安全に対する意識を高めるため、立川警察署交通課交通総務係係官等を招き、「高齢者の交通安全」の講義を行いました。

(10月18日 女性総合センター・アイム1階ホール 参加人数 129名)

### ② 転倒予防講習会の開催

第6ブロックシルバー人材センターの共同研修として、転倒予防講習会を開催し、体力維持や健康管理の講義を行いました。

(1月30日 本部事務所2階会議室 参加人数 32名)

### ③ 関係機関主催の安全就業に関する会議・研修への参加

第6ブロック安全就業推進員連絡会で、安全就業に関する情報収集や調査研究を行うとともに、東京都シルバー人材センター連合等が主催する安全研修に安全担当理事や安全管理推進委員会委員が参加しました。

## (4) 安全就業パトロール指導員の巡回指導

当センターの就業中の安全対策や安全管理体制の確認のため、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全就業パトロール指導員の巡回指導を受けました。(10月26日)

## (5) 安全啓発グッズの配布

就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力会員に対し、夏季には熱中症予防のネッククーラーを、冬季には感染症予防のマスクを、職群班や地域班を通じ配布しました。

## 6 中期事業計画の着実な達成

平成28年度の最終年度を迎え、「中期事業計画改訂版」に基づき、設定課題の解決や数値目標の達成のための施策に取り組みました。その結果、数値目標では会員数・契約金額・就業率のうち、就業率の目標値75%を到達することができました。また、平成29年度以降の5ヶ年を期間とした「第2次中期事業計画」を策定すべく、第2次中期事業計画策定部会を設置し、新たな数値目標の設定と課題の取り組みについて審議を行い、部会答申に基づいて「第2次中期事業計画」を決定しました。

## Ⅲ 組織活動

### 1 理事会

経営会議、総務部会・事業部会・広報部会をはじめ、安全管理推進委員会や就業決定会議等の活動を推進するとともに、理事会・事務局の緊密な連携のもと、活動計画を実施し、目標の達成に努めました。

#### (1) 経営会議

適正な運営と執行管理を目的に、代表理事・業務執行理事による経営会議を開催し、事業の進捗状況の確認や施策の検討などを行うとともに、定款の定めに基づき、理事会に対し職務執行に関する報告を行いました。

#### (2) 総務部会

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とする地域貢献活動の円滑な実施と参加協力会員の拡大に向けた取り組みを進めるとともに、入会説明会・新入会員研修会の内容充実、総合相談窓口の充実に努めました。

#### (3) 事業部会

就業開拓・開発・提供担当職員と緊密に連携し、就業開拓、未就業会員の現況把握、職群班の自主的就業管理体制の充実、適正就業の確保などに取り組みました。

#### (4) 広報部会

ホームページの充実、市広報への定期的な入会説明会日程等の掲載、会報の発行、普及啓発活動月間の設定や入会案内パンフレット等の市内全戸配布などに取り組みました。

### 2 地域班活動

地域班班長会議の開催などを通じ、総務部会・事務局と緊密に連携して、地域会員の相互交流の推進と「小学校児童下校時通学路安全見守り活動」などの地域に根ざした「地域貢献活動」の実施に取り組みました。

### 3 職群班活動

お客様からの信用・信頼を維持するため、「共働・共助」の理念に基づく自主的就業管理体制の充実とともに、事業部会と緊密に連携し、適正就業の確保、研修の充実、安全就業の徹底に取り組みました。

#### **4 委員会活動**

会報編集委員会を設置し、会員への情報提供・運営状況報告などを目的とした会報「シルバーだより」を年4回(4、7、11、1月)発行しました。

#### **5 会員の福利厚生活動**

会員の健康管理・安全確保を目的に、安全管理推進委員会と連携して、熱中症予防・感染症予防のグッズを配布するとともに、東京都シルバー人材センター連合を通じて配布された埼玉西武ライオンズ野球観戦招待券を配布しました。

また、会員の自主的福利厚生・親睦交流団体である会員互助会の運営を支援するため、27年度収益の一部を充て、会員互助会への助成に充当しました。